

コアレックス
栄信

万博資源循環の取り組み

元気ネットセミナー講演
直近約4万^キロ雑がみ回収

(東京通信) コアレックス信栄は七月二十九日、東京都千代田区の主婦会館プラザエフとオンラインで行われた「大阪・関西万博における資源循環『産官民連携が生み出す紙資源リサイクル』」(NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット主催)で関西・大阪万博での取り組みについて講演した。



佐野仁副社長
(写真)は「六月三十日までの会期中に雑がみの回収量は二万八、四〇〇^キ、トイレ紙納入量は四万七、〇〇〇^キ」

〇〇ロール(R)「直近では先週まで(七月中旬)で回収量三万九、七二〇^キ、

納入量六万四、二〇〇^キ」回収した資源を原材料の一部として、約三日でトイレ紙に再生し納入。「六月末までの雑がみ回収量から換算される二酸化炭素削減量は焼却処理と比較して、二万三、五七二^キに相当」と報告。紹介動画の上映も行った。今後を「東京オリンピック・パラリンピックでの経験や反省を生かし、おおむね順調」「来場者数次第だが、会期を約半分終えた段階で、回収、納入量は全体の想定量のほぼ半数に達している」とした。さらに同社では来年六五周年を迎えるにあたり「令和版サステナブルのちり紙交換を目指す」として十月から、難処理古紙回収、再生の新プロジェクト「紙対応」を実施することを発表した。

カミ商事が段原紙値上げ

10月1日納入分から10%以上(四国通信) カミ商事は十月一日納入分から、段ボール原紙の中芯とライ

ナーを現行比一〇%以上値上げする。人件費や物流費、設備修繕維持費など諸経費が上昇。グループ会社の愛媛製紙と三洋製紙でもコスト削減に努めてきたが、自助努力の限界を超える状況。製品の安定供給と品質維持を継続するには価格改定は避けられないと判断した。

シロキ、二葉紙業
紙・板紙販売譲受

(中京通信) シロキ(名古屋市中区、白木周作社長)は一日、二葉紙業(東京都千代田区、小坂徳郎社長)から紙・板紙販売の全事業を譲受した。

紙・板紙販売において出版などの紙需要を確実に取り込む事業展開を目指すシロキと、経営資源の選択と集中を進める二葉紙業の経営戦略が一致した。

興亜工業の前3月期

減収減益

(静岡通信) 興亜工業(静岡県富士市比奈、井上淳社長)の前3月期業績は売上高三二〇億四、八〇〇万円(前年比三・六%減)、営業利益四四億四、四〇〇万円(二四・一%減)、経常利益四五億四、三〇〇万円(二三・七%減)、純利益三一億二、三〇〇万円(二四・二%減)の減収減益だった。



書道用紙・衛生用紙

大高製紙株式会社

〒799-0431 愛媛県四国中央市寒川町2437
TEL(0896)25-1000 FAX(0896)25-1002革新と挑戦の情熱を持って時代の変化に対応し
社会とともに成長します。

新生紙パルプ商事株式会社

<https://www.sppcl.co.jp>

緑の地球を子どもたちに…。



大分製紙株式会社